

令和6年入込観光客総評

令和7年6月 箱根町

■ 総括

令和6年は、物価高騰などの影響を受け、国内観光客の数は前年を下回った。一方で、インバウンド需要が引き続き好調であったことから、全体としては前年を上回り、年間の入込客数は平成30年以来6年ぶりに2,000万人を超えた。

■ 入込観光客数

20,310千人（前年比104.1% 800千人の増）

〔内訳〕

- ・宿泊客：3,984千人（前年比101.2% 46千人の増）
- ・日帰り客：16,326千人（前年比104.8% 754千人の増）

1 宿泊客について

(1) 施設形態別

旅館・ホテルは3,582千人（前年比101.2% 44千人の増）、寮・保養所は360千人（前年比99.4% 2千人の減）、民宿・国民宿舎・ユースホステル・民泊は12千人（前年比93.7% 1千人の減）となり、宿泊客数は前年より増加した。

〔内訳〕

物価高騰やパリオリンピック開催による出控えなどの影響により、日本人観光客は前年より減少しているが、外国人観光客は、水際対策が令和5年4月に終了していることから、前年より大幅に増加した。

- ・一般客：3,463千人（前年比97.0% 107千人の減）
- ・外国人観光客：493千人（前年比143.3% 149千人の増）
- ・修学旅行客：29千人（前年比118.1% 4千人の増）

(2) 月別

閑散期とされる2月、3月、6月は、インバウンド需要の好調を受けて、前年を上回る結果となった。一方、8月・9月は、パリオリンピックの開催による出控えや台風の影響により、前年を下回った。行楽シーズンのピークとなった11月は、前年より増加し、例年通り年間で最も多い入込客数となった。

2 日帰り客について

日帰り客については、コロナ前の水準に近いところまで回復した。公共交通機関の乗車パスが好調だったことに加え、宿泊客と同様に外国人観光客の増加の影響を受け、前年を上回る結果となった。

3 月別入込み状況について

【1月】

第100回大会となった箱根駅伝では、多くの歓声が沿道から聞かれ、賑わいを感じられた。また、中旬ごろまでは箱根神社への初詣を目的とした参拝客を中心に賑わいを見せた。

【2月】

降雪による道路の通行止めや公共交通機関の運休等が発生した日もあったが、全体を通して天候に恵まれ、春休みに入った大学生や外国人観光客の姿が多く見られた。また、中国の旧正月である春節が2月中旬となったことに加え、うるう年の影響で日数が1日多かったこともあり、中国や台湾からの訪日外客が多く、引き続きインバウンドの集客が好調であった。

【3月】

春休みシーズンやイースター休暇が3月下旬から始まったことにより、学生のグループや外国人観光客を中心に町内が賑わっていた。また、町内でも外国人観光客の姿が多く見受けられた。

【4月】

春休みシーズンが終了したことにより、日本人観光客の来訪が落ち着きをみせるなか、桜による訪日需要の高まりの効果もあり、外国人観光客の姿が目立っていた。

【5月】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから初めてのゴールデンウィークとなったが、物価高騰等の影響により、日本人観光客の姿が少なく感じられた。インバウンド需要に支えられる形で、町内においてもひと月を通して多くの外国人観光客の姿が見られた。

【6月】

閑散期とされる時期になるが、引き続きインバウンド需要が好調に推移したことにより、日本人観光客の減少を補うことができた。

【7月】

梅雨や酷暑の影響による出控えからか、日本人観光客の姿は少なく、町内全体を通して外国人観光客の姿が目立っていた。例年に比べて梅雨明けも早く、夏休みシーズンに入ったこともあり、月の後半になると、家族連れや学生のグループが徐々に増えたように感じた。

【8月】

上旬に県西部が震源となる地震が発生したことやお盆期間中と月末に発生した台風の影響により宿泊施設のキャンセルが発生したことに加え、パリオリンピック開催による出控えなどの影響もあり、繁忙期に思ったように集客ができていない施設が多く見受けられた。一方で、外国人観光客については、春頃に比べて多少の落ち着きは見せているものの、依然として多くの姿が見られていた。

【9月】

台風10号の影響により、8月末から引き続き宿泊施設のキャンセル等が発生したが、秋の行楽シーズンにも入り、インバウンドの集客は依然好調を維持していた。

【10月】

引き続きインバウンドの集客が好調であり、平日はほとんどが外国人観光客であり、休日は日本人観光客の来訪が目立っていた。

【11月】

行楽のトップシーズンとなり、紅葉の見ごろが例年に比べて遅れたことや、スキの見ごろが例年よりも長く続いたため、町内に賑わいが見られた。また、外国人観光客については紅葉シーズンによる訪日需要の高まりから、依然として多くの姿が見られた。

【12月】

秋の行楽シーズンが落ち着いたことから、例年通り、国内観光客の客足は前月から減少したように感じられた。一方、インバウンドの集客は引き続き好調であった。

※ 最大入込月について

最大の入込みがあったのは、仙石原すすき草原や紅葉が見頃になった11月であり、次いで、夏休みシーズンで賑わいを見せた8月という状況であった。

令和6年 月別入込観光客数一覧

(単位：人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	251,138	259,026	350,314	307,411	296,806	252,574	285,899	355,946	281,830	332,344	345,058	264,009	3,582,355	101.2%
(内数：一般客)	228,626	230,844	306,880	250,649	249,861	213,259	244,447	319,374	242,473	270,220	290,128	221,602	3,068,363	96.6%
(内数：外国人客)	22,480	27,610	42,414	52,372	43,100	35,506	38,831	34,075	37,001	58,624	51,670	41,831	485,514	143.7%
(内数：修学旅行者)	32	572	1,020	4,390	3,845	3,809	2,621	2,497	2,356	3,500	3,260	576	28,478	119.1%
民宿・国民宿舎 ユースホステル・民泊	791	739	1,262	1,011	1,247	685	914	1,244	929	1,128	1,268	1,131	12,349	93.7%
(内数：外国人客)	255	288	593	523	650	379	474	487	500	704	655	528	6,036	118.7%
ペンション	179	227	141	99	76	83	83	114	85	79	127	111	1,404	152.9%
キャンプ場・コテージ	860	1,116	2,800	1,735	2,924	1,586	2,057	4,988	3,259	2,254	2,485	1,728	27,792	122.4%
(内数：外国人客)	34	36	61	117	161	91	119	125	120	73	124	56	1,117	143.0%
(内数：修学旅行者)	0	0	0	0	73	0	29	124	114	0	0	0	340	66.8%
寮・保養所	25,263	21,399	33,030	29,407	31,000	25,207	31,081	42,472	27,409	29,418	33,642	31,162	360,490	99.4%
宿泊客計	278,231	282,507	387,547	339,663	332,053	280,135	320,034	404,764	313,512	365,223	382,580	298,141	3,984,390	101.2%
(内数：外国人客)	22,769	27,934	43,068	53,012	43,911	35,976	39,424	34,687	37,621	59,401	52,449	42,415	492,667	143.3%
(内数：修学旅行者)	46	572	1,020	4,390	3,918	3,809	2,650	2,621	2,470	3,500	3,260	576	28,832	118.1%
日帰客	1,080,754	915,867	1,351,761	1,469,305	1,505,221	1,270,132	1,291,356	1,498,691	1,265,235	1,503,589	1,766,431	1,407,268	16,325,610	104.8%
観光客総数	1,358,985	1,198,374	1,739,308	1,808,968	1,837,274	1,550,267	1,611,390	1,903,455	1,578,747	1,868,812	2,149,011	1,705,409	20,310,000	104.1%

過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数

年	宿泊客数(人)	対前年比	対前年増減(人)
平成27年	3,665,231	79.6%	△ 941,520
平成28年	4,338,824	118.4%	673,593
平成29年	4,693,513	108.2%	354,689
平成30年	4,525,879	96.4%	△ 167,634
令和元年	4,296,727	94.9%	△ 229,152
令和2年	2,788,706	64.9%	△ 1,508,021
令和3年	2,540,991	91.1%	△ 247,715
令和4年	3,450,000	135.8%	909,009
令和5年	3,938,000	114.1%	488,000
令和6年	3,984,390	101.2%	46,390

※対平成30年比 88.0% △ 541,489

(2) 日帰客数

年	日帰客数(人)	対前年比	対前年増減比(人)
平成27年	13,710,769	82.7%	△ 2,872,480
平成28年	15,226,176	111.1%	1,515,407
平成29年	16,826,487	110.5%	1,600,311
平成30年	16,734,121	99.5%	△ 92,366
令和元年	14,663,273	87.6%	△ 2,070,848
令和2年	9,781,294	66.7%	△ 4,881,979
令和3年	10,959,009	112.0%	1,177,715
令和4年	13,910,000	126.9%	2,950,991
令和5年	15,572,000	111.9%	1,662,000
令和6年	16,325,610	104.8%	753,610

※対平成30年比 97.6% △ 408,511

(3) 観光客総数

年	観光客総数(人)	対前年比	対前年増減比(人)
平成27年	17,376,000	82.0%	△ 3,814,000
平成28年	19,565,000	112.6%	2,189,000
平成29年	21,520,000	110.0%	1,955,000
平成30年	21,260,000	98.8%	△ 260,000
令和元年	18,960,000	89.2%	△ 2,300,000
令和2年	12,570,000	66.3%	△ 6,390,000
令和3年	13,500,000	107.4%	930,000
令和4年	17,360,000	128.6%	3,860,000
令和5年	19,510,000	112.4%	2,150,000
令和6年	20,310,000	104.1%	800,000

※対平成30年比 95.5% △ 950,000